

報道関係者 各位

有毒植物（バイケイソウ）による食中毒の発生について

令和6年4月12日（金）、山形市内の医療機関から、食中毒症状を呈している患者を診断した旨の連絡が村山保健所にあり、調査の結果、バイケイソウをウルイ（オオバギボウシ）と誤認して食べたことによる食中毒と断定しました。なお、患者は快方に向かっています。

1 調査結果

摂食日時	令和6年4月11日（木）午後6時頃		
摂食者数	1家族1名		
発生日時	令和6年4月11日（木）午後6時頃		
患者数	1家族1名（70代女性）	患者住所	尾花沢市
受診者数	1名	入院患者	1名（退院済み）
症状	舌と口の周りのしびれ		
原因食品	当該品の油炒め	病因物質	植物性自然毒（バイケイソウ）
原因	患者の家族が宮城県鳴子地区から採取した植物（バイケイソウ）を油いためにし、味見したところ食中毒症状を呈したものの。		

2 措置

村山保健所では、①患者の症状及び発症時間がバイケイソウによる食中毒症状と一致したこと、②採取した植物の残品がバイケイソウの特徴的な形状と類似していたこと、③患者を診察した医師からバイケイソウによる食中毒の届出があったことから、バイケイソウによる食中毒と断定した。また、同保健所では、患者らにバイケイソウ等の有毒植物について説明し、注意喚起を行った。

<有毒植物による食中毒を起こさないための注意事項>

- 1 県内では、有毒植物による食中毒のうち、ウルイと間違えたバイケイソウによる食中毒が、これまで2件（平成9年：患者3名、平成17年：患者1名）発生しています。
- 2 山野草を採取する場合は、知っているものだけを食べましょう。
- 3 少しでも自信のないもの、怪しいと思うものは、絶対に採取しないようにしましょう。
- 4 安易に譲り渡したり、譲り受けたりしないようにしましょう。
- 5 山野草を食べて、しびれ、むかつき、吐き気などの中毒症状を起こしたら、有毒植物の混入を疑い、残品を持って早急に医療機関を受診しましょう。

※ 別添チラシをご覧ください。

令和6年食中毒発生状況（今回を含む）		
食中毒発生状況	3件	19名（調査中）
昨年同期	2件	54名
昨年計	10件	155名

【問い合わせ】
食品安全衛生課
食品・営業衛生主幹 伊藤陽子
電話 023-630-2567
[報道監]防災くらし安心部次長 小泉篤